

近藤忍後援会 2012 年活動報告書

発行責任者
後援会長 江野澤政広



旧年中も、後援会に変わらぬご理解を頂き有り難うございます。昨年は市制施行 70 周年を迎え、金田東地区の街開きやアクアラインマラソンの開催など記憶に残る年となりましたが、近藤忍も議員 5 年目を迎え頑張っただけではありません。

そのような 2012 年における近藤忍の活動状況を報告させていただきます。

本来であれば、後援会の皆様に年始の挨拶も兼ねたいところではありますが、公職選挙法による挨拶状の制限が有ることをご理解願います。

後援会長 江野澤政広

1. 定例議会での活動報告

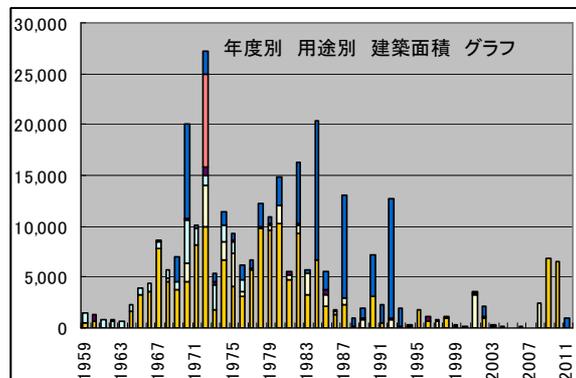
近藤忍は、3 月定例議会で会派羅針盤としての代表質問を行い、それ以外の 3 回の定例議会では市制改革のため個人質問を行いました。質問の概要は次の通りです。

3 月定例議会：「第 4 次総合 3 年プラン等」

羅針盤の会派を代表し、複数のテーマで総合的な質問を行いました。震災や地方分権で自治の前提が変わりつつある中で総合計画の見直しを行うことや、高齢独居者の見守り活動の実施、学校耐震化の今後の行程、震災瓦礫の木更津による受入体制、行政改革と職員定数管理計画及び民間電力会社の利用など、今後の木更津市の課題について多くの切り口で問題点を提起させていただきました。市政 70 周年を迎え、人口の増加や金田事業の進捗など明るい話題は多くありますが、まだまだ行政改革が必要だと考えています。

6 月定例議会：「建築物の維持管理等」

市役所以外の建築物も老朽化が進んでいることを調べた具体的な数値で示し、管理体制の一元化の必要性や技術職員の年齢構成の問題を明らかにしました。また、特に老朽化が進んでいる市営住宅を政策的にまちづくりへ活用する事や、消防分署や消防団ともに再編を検討すべきと思われる消防組織の問題など、建築物を中心に据えて行政が抱えている問題点について質問しました。資産管理の一元化は今後の大きな課題であると考えています。



9 月定例議会：「河川・海岸の防災対策等」

震災から 1 年以上を経過してもなお海岸の津波対策が進まない状況の中、現在の進捗状況を確認し、管理者である千葉県動きが遅い場合に市がとるべき対策について質問しました。特に久津間船溜まりにおける対策は周辺の住民にとって重要ですので今後も追求していきます。他には再生可能エネルギーの積極的な導入や選挙事務の合理化について質問を行いました。行政にも不断の改革を求めて行くべきと考えています。

1 2 月定例議会：「小中学校の諸問題等」

校舎と屋内運動場の診断がほぼ終了する見込みとなりましたので、今後の展開について確認を行いました。市は補助金の助成が多い平成 27 年度までに全ての対策を終える計画ですが、事業規模が 50 億円を超える見込みで、市庁舎の建て替えと合わせると財政には大きな負担が生じ、緊縮が求められると想像されます。他には図書館の指定管理や広域化の問題、巖根駅の快速停車や岩根地区内での高速バス停などについて質問を行いました。巖根駅前の J R 用地は購入の目途が立ち工事の再開も近いですが、快速停止は今後も協議が必要です。

2. 委員会や議会内における活動報告

建設常任委員会の委員長として2年目となり、橋梁・公園・市営住宅・下水道等の社会資本の長寿命化計画の立案や水道事業の民間企業参入に伴う対策、請西千束台の区画整理の問題などを検討しております。また7月には釧路港の津波スクリーンと帯広市の水道バックアップ条例について視察してきました。

特別委員会では3月の**予算審査**と9月の**決算審査**の双方とも委員となり、各々3日間に渡る集中審議の中で、事業の今後の方向性などについて質疑を行ってきました。

また、6月より議員全員を持って設置された**市庁舎整備特別委員会**では副委員長に任命され、市役所の位置や在り方についての議論を深めております。

基地対策特別委員会では、引き続き基地問題と江川総合運動公園の拡張事業及び防災拠点の整備に取り組んでいます。特に年末の衆議院選挙による政権交代を受け、これらの課題が大きく進むことを希望しています。

同期当選の7名による**十九の会**では5月に佐倉市へ視察を行い、資産管理の一元化の効果や本市でも導入を検討している小規模特認校制度について勉強してまいりました。

議会選出の**農業委員会**の委員としても多くの研修会に出席し、農業政策にも取り組んでおります。



会派羅針盤としては、日常の研鑽のほか、1月に大和郡山市で電気料金自由化への対応、尼崎市で要援護高齢者見守り対策、高槻市で債権管理一元化を視察し、8月には玉名市で庁舎建設に係る検討事項、武雄市で図書館の民間委託及び市の広報活動、大村市で議会改革の取り組みを視察してきました。

なお、会派羅針盤の代表は8月末で斉藤高根議員と交代し、それに伴い議会運営委員会の委員も交代しました。

3. 地域等における活動報告

巖根駅への快速停止要望が10月29日に市長へ提出されました。市もJRと協議を進める中で、取り敢えず駅前広場の用地問題が解決し、平成25年の工事になる予定です。快速停止も引き続き関係部局と折衝しています。

岩根西地区まちづくり協議会が11月23日に実施した災害時避難所体験に参加するなど、岩根西地区の多くの行事に参加し、意見交換してきました。

震災後の風評被害によって潮干狩りの観光客が激減している中では関係者で対策会議を開き対応いたしました。

また、春の小櫃川さくら祭りや夏のアカデミア音楽コンクール、秋の矢那川彼岸花移植などでもスタッフとして活動してきました。



4. 2013年の木更津市政の課題

金田東地区では今後も多くの施設が建てられていきますが、それを市全体の活性化につなげる施策が重要になります。また、中野畑沢線の完全4車線化に向け沿道では多くの調整が必要となりますし、学校耐震や庁舎の新築など巨額の財政需要に対応するための行政合理化も一層進める必要があります。議会はそれに先立ち議員定数を28人から24人に減少させる事を決めましたが、今後も行政と議会の改革を行うことが重要と思います。

5. 後援会の案内と入会のお誘い

年賀状ならびに年始の挨拶状を近藤忍本人から郵送することは、公職選挙法違反となるため、本年も昨年と同様に後援会より会員の皆様に対して近藤忍の活動報告をさせていただきます。本書が届くことにお心当たりのない方は、恐れ入りますが下記までその旨をご連絡下さい。

また、近隣や知人で近藤忍後援会へ入会を希望される方が居られましたら、氏名、住所、電話番号等をお知らせ下さい。連絡は後援会事務所を直接訪問戴くか、郵送・電話報告、FAX、メール等の方法にてお願いします。

住所 木更津市江川 847 : TEL 0438-41-1605 : FAX 0438-41-1606 : メール info@sinobu.com